



新薬学者集団 2016 年度シンポジウムの報告

あらためて薬局・薬剤師の役割を考える

国民・患者・地域に求められる薬局とは

新薬学者集団では、2016年5月8日午後、京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 大会議室において、京都府薬剤師会の共催を得て、下記のようなプログラムで2016年度総会・シンポジウム「あらためて薬局・薬剤師の役割を考える—国民・患者・地域に求められる薬局とは」を開催しました。

プログラム

基調報告

新薬学研究者技術者集団 運営委員 廣田憲威 氏 (大阪ファルマプラン)

シンポジウム

- ① 寝屋川市の東北圏域における在宅医療・介護サービス
株式会社ぼぷら 代表取締役 澤田 昇 氏
- ② 病院薬剤師と薬局薬剤師の「医療連携」—コミュニティにおけるチーム医療の取り組み
京都大学附属病院 薬剤部副部長 深津祥央 氏
- ③ 薬局におけるヘルスプロモーションの取り組み
一般社団法人大阪ファルマプラン あおぞら薬局 管理薬剤師 宇都宮励子 氏

- ④ 薬局は最後の防波堤—医師・薬剤師の連携で患者の命を守ろう
京都民医連第二中央病院 副院長・往診センター長 中川裕美子 氏
- ⑤ 国民・患者から薬局に期待するもの
京都市中京区生活と健康を守る会 副会長 中村勝巳 氏